



2つの がんばりたいこと

夏休み明けの学校再開にあたり、安心して生活できる青葉台小学校にするために、頑張してほしいことを2つ話しました。

まず、あいさつです。前期の学校評価アンケートで、87%の子供が「あいさつができています」と回答していました。昨年度末から8パーセント上がっており、実際によくできていて気持ちがよいです。私は、朝のあいさつをしながら「暑い中、そしていろいろあると思うけれど、よく来たね。また会えてうれしいよ。」と子供たちに思いを伝えています。32日ぶりに子供たちと会って、心からそう思いました。「人と人とのつながりの始まり」「敬意を表す言葉」。やっぱりあいさつは大切にしていきたいです。

もう一つは、「物を落とさない、落ちていたら拾う。」これは、児童会でスクールワイド PBS の行動目標を見直して付け足してくれた項目でもあります。使っている物、使い終わった物、どんな物も大切にしましょう、身の回りをきれいにしましょう、ということです。丁寧な所作やきれいな環境づくりが落ち着いた生活につながります。

「あいさつ」「物を落とさない、落ちていたら拾う」基本的なことから取り組んで気持ちを整えていきたいと思います。



児童会であいさつ運動をします。

魅力的なことを見つけて タイムマネジメントの力を育てる

夏休み前、子供に向けて、SNS やゲーム、ネットの使用について注意喚起をしました。これらの使い過ぎは、時間を奪われるだけでなく、他のやるべきことができなくなる、身体に支障が出てしまうという問題が生じます。感情や創造性をつかさどる脳の前頭前野が成長する時期に、その働きが抑制されるため、感情のコントロールが難しくなるとも言われています。社会で深刻化しており、子供の使用について制限をかけている国も増えています。8月17日発行の静岡新聞に「ゲーム依存 若年層10%、幼少期からネット環境一般化」という気になる記事がありました。以下のような項目で一定以上思い当たるところがあると、「ゲーム行動症」の疑いがあるそうです。

□ゲームをしたい気持ちがコントロールできなくなり、日常生活より優先する。

□生活が乱れ、朝起きられなくなったり、食事を取らなくなったりする。

□制限されると暴力的になるケースもある。…………

ゲームやSNS、動画視聴を「やめなさい。」と言われても改善するのは難しいと思います。他にもっと楽しいことや魅力的なことがあれば、自分で調整し、「タイムマネジメント」する力も育ちます。授業でタブレット端末を使用していますが、併せて、友達と話し合ったり、体験活動をしたり、ノートに書いたりする時間も設けるようにしています。

夏休み明けの子供たちの、日焼けしている姿や、良い笑顔、穏やかな言動など、健康的に成長している様子から、魅力的な時間の過ごし方ができたのだらうと思えました。保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。

